

第76回

# 日本消化器 画像診断研究会

プログラム・抄録集

会期

2022年9月23日金・24日出

会場

朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター  
〒950-0078 新潟市中央区万代島6-1

当番世話人

塩路 和彦 (新潟県立がんセンター新潟病院 内科)

第76回

# 日本消化器 画像診断研究会

プログラム・抄録集

会期

2022年 9月23日金・24日土

会場

朱鷺メッセ  
新潟コンベンションセンター

〒950-0078 新潟市中央区万代島6-1

当番世話人

塩路 和彦

(新潟県立がんセンター新潟病院 内科)

事務局

新潟県立がんセンター新潟病院内科内

〒951-8566 新潟市中央区川岸町2-15-3

TEL:025-266-5111(代) FAX:025-233-3849

運営事務局

株式会社シンセンメディカルコミュニケーションズ内

〒950-0983 新潟市中央区神道寺1丁目6-14

TEL:025-278-7232 FAX:025-278-7285

E-mail: gazou76@shinsen-mc.co.jp

## ご挨拶



当番世話人 塩路 和彦

新潟県立がんセンター新潟病院 内科

このたび、第76回日本消化器画像診断研究会を2022年9月23日(金)、24日(土)に新潟市の朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンターにて開催させていただくことになりました。伝統ある本研究会のお世話をさせていただくことになり、大変光栄に存じますとともに、このような機会を与えていただきました世話人の先生方や会員の皆様に心より感謝申し上げます。

本研究会は肝胆膵疾患の診療を専門とする消化器内科、消化器外科、放射線科、病理の医師が多数参加する極めてレベルの高い研究会です。一例一例を詳細に検討し、病理所見と付き合わせることで、得られた画像がどのような病理所見で成り立っているのか、画像からどのような病理像が想定されるかなど多くのことを学ぶことができます。また、熱いディスカッションだけでなく、全員懇親会では著名な先生と直接話ができ、全国の同じ志をもつ同世代の医師と交流できる非常に有意義な研究会でもあります。

コロナ禍により多くの学会・研究会が中止されていましたが徐々に再開され、感染拡大を防ぐためにオンラインやハイブリッドでの開催が増えています。開催地に行かなくても自宅や職場などから気軽に参加することが可能で、オンデマンドでの参加では時間に縛られることもなく、発表を見ることができるといったメリットはありますが、どうしてもディスカッションが十分できないというデメリットもあります。この研究会は一例一例を様々な立場からいろいろと議論しあうことが重要と考え、現地開催で行うこととしました。

準備期間中に第6波がありましたが、そのピークが終わり少し安心していただけたところに第7波が始まり、現在も感染者数が日々増加しています。しかし、感染に十分気をつけながらできるだけ社会活動は継続していくという流れもあります。中には各施設の制約のため現地参加が難しい方もいらっしゃるかと思いますが、直接顔を合わせての熱いディスカッションを期待したいと思います。

今回、若い先生方がより画像診断に興味を持ってもらえることを期待し、新しい試みとして症例検討セッションを企画しました。症例検討セッションでは、病歴や画像を提示し、どのような疾患が考えられるか議論していただき、最後に病理結果を解説します。議論にはスマートフォン等を用いて、会場からの意見も聞きたいと考えています。

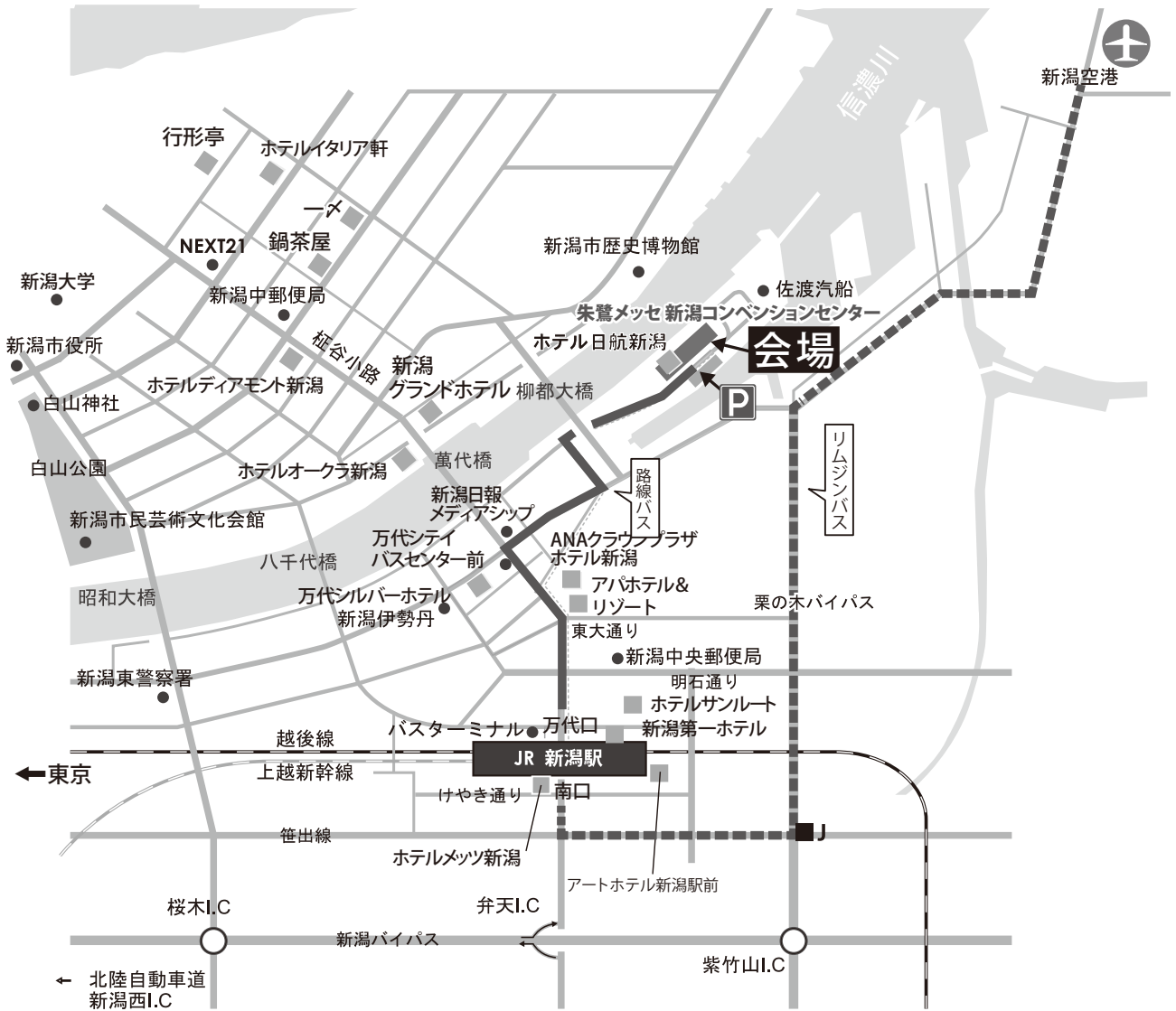
最後になりますが、本研究会開催にあたりまして、司会・座長・各種コメントーターをお務め頂く先生方、ご発表の先生方、そして共催・協賛頂きます企業の皆様に、この紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

# 日本消化器画像診断研究会 世話人

|              |               |       |        |        |       |        |        |
|--------------|---------------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|
| 執行部世話人       | 代表            | 花田 敬士 |        |        |       |        |        |
| 世話人<br>(89名) | 内科<br>(41名)   | 蘆田 玲子 | 有坂 好史  | 伊佐山 浩通 | 糸井 隆夫 | 伊藤 啓   | 今井 英夫  |
|              |               | 入澤 篤志 | 岩尾 年康  | 岩崎 栄典  | 植木 敏晴 | 牛尾 純   | 大西 佳文  |
|              |               | 岡庭 信司 | 岡部 義信  | 岡部 純弘  | 檜田 博史 | 潟沼 朗生  | 加藤 博也  |
|              |               | 菅野 敦  | 菅野 良秀  | 菊山 正隆  | 北野 雅之 | 窪田 賢輔  | 栗田 亮   |
|              |               | 越田 真介 | 児玉 裕三  | 佐々木 民人 | 笹平 直樹 | 塩路 和彦  | 芹川 正浩  |
|              |               | 高山 敬子 | 竹中 完   | 土屋 貴愛  | 長川 達哉 | 原 和生   | 比佐 岳史  |
|              |               | 肱岡 範  | 深澤 光晴  | 真口 宏介  | 宮田 英樹 | 吉田 浩司  |        |
|              | 外科<br>(19名)   | 伊佐 勉  | 海野 倫明  | 遠藤 格   | 大塚 隆生 | 大塚 将之  | 北川 裕久  |
|              |               | 小西 大  | 佐野 圭二  | 佐野 力   | 島田 光生 | 清水 泰博  | 趙 明浩   |
|              |               | 中村 雅史 | 羽鳥 隆   | 平野 聡   | 本田 五郎 | 松田 正道  | 松村 敏信  |
|              |               | 力山 敏樹 |        |        |       |        |        |
|              | 放射線科<br>(12名) | 歌野 健一 | 岡田 吉隆  | 蒲田 敏文  | 五島 聡  | 櫻井 康雄  | 鈴木 耕次郎 |
|              |               | 竹原 康雄 | 平井 都始子 | 廣橋 伸治  | 藤永 康成 | 山城 正司  | 吉満 研吾  |
|              | 病理<br>(17名)   | 大池 信之 | 鬼島 宏   | 古賀 裕   | 坂元 亨宇 | 佐々木 恵子 | 高瀬 優   |
|              |               | 内藤 嘉紀 | 能登原 憲司 | 濱田 義浩  | 平林 健一 | 福嶋 敬宜  | 福村 由紀  |
|              |               | 古川 徹  | 細田 和貴  | 三橋 智子  | 安川 覚  | 山口 浩   |        |
|              | 名誉代表世話人(3名)   | 有山 襄  | 堀口 祐爾  | 山雄 健次  |       |        |        |
|              | 名誉会員(28名)     | 有井 滋樹 | 猪狩 功遺  | 池田 靖洋  | 石川 洋子 | 梶原 建熙  | 角谷 眞澄  |
|              |               | 神澤 輝実 | 木村 理   | 工藤 正俊  | 神代 正道 | 清水 武昭  | 白鳥 敬子  |
| 須田 耕一        |               | 竹原 靖明 | 田代 征記  | 田中 雅夫  | 永川 宅和 | 中澤 三郎  |        |
| 中山 和道        |               | 藤田 直孝 | 松代 隆   | 村島 義男  | 森安 史典 | 山上 裕機  |        |
| 山口 幸二        |               | 竜 崇正  | 渡邊 五朗  | 渡辺 英伸  |       |        |        |
| 特別会員(13名)    | 今村 正之         | 奥田 康司 | 土屋 嘉昭  | 土井 隆一郎 | 中島 収  | 野田 裕   |        |
|              | 藤本 武利         | 二川 俊二 | 船曳 孝彦  | 宮川 秀一  | 宮崎 勝  | 柳澤 昭夫  |        |
|              | 山野 三紀         |       |        |        |       |        |        |

2022年8月4日現在

# 会場へのアクセス

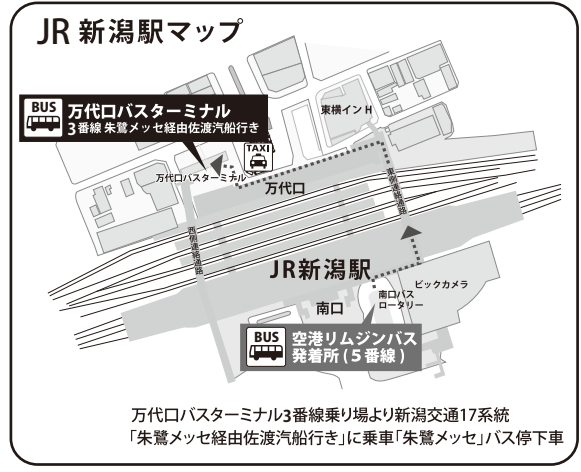


## 新潟へのアクセス

| 飛行機を利用する  | 出発地           | 到着地  | 所要時間    | 新潟空港 |
|-----------|---------------|------|---------|------|
| 札幌        | 新千歳空港         | 新潟空港 | 約1時間15分 | 新潟空港 |
| 成田        | 成田空港          | 新潟空港 | 約1時間10分 |      |
| 大阪        | 大阪国際空港 (伊丹空港) | 新潟空港 | 約1時間    |      |
| 名古屋(中部国際) | 中部国際空港        | 新潟空港 | 約1時間    |      |
| 名古屋(小牧)   | 豊田名古屋空港       | 新潟空港 | 約1時間    |      |
| 福岡        | 福岡空港          | 新潟空港 | 約2時間    |      |

各航空会社へお問い合わせください。 <http://www.n-airport.co.jp/flight/>

| 新潟空港  | JR新潟駅           | 朱鷺メッセ   |
|---|-----------------|---|
| リムジンバス<br>約25分 (新潟駅南口着)<br>(1日往復65便<br>約20~30分間隔)<br>410円 | 南口/万代口<br>徒歩 2分 | 路線バス (佐渡汽船行き) 210円 (約15分)<br>万代ステイバスセンター前<br>新潟日報メディアシップ<br>柳都大橋<br>朱鷺メッセ下車 (終点 佐渡汽船) |
|   | タクシー 約1,000円    | 約5分   |
|   | 徒歩              | 約20分  |

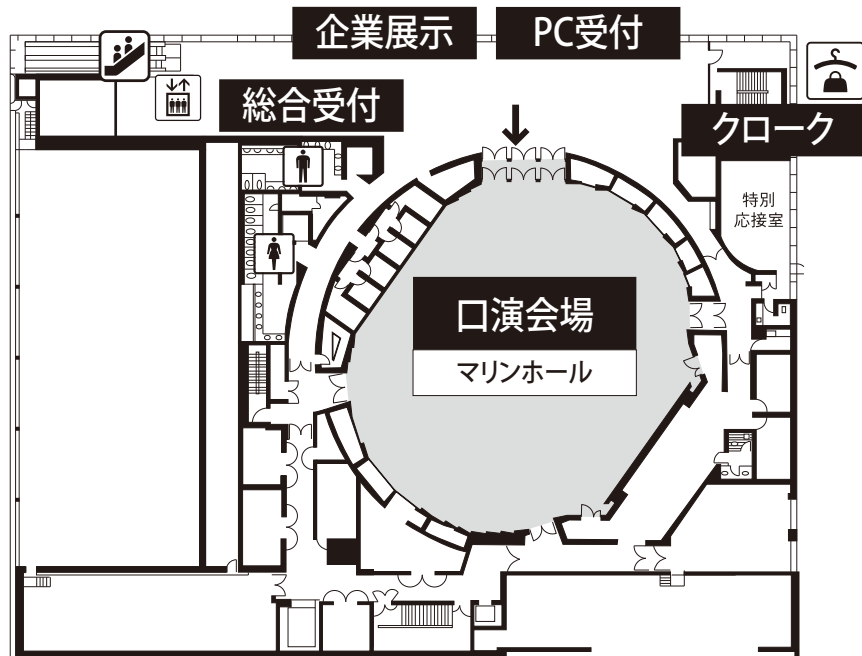


万代口バスターミナル3番線乗り場より新潟交通17系統「朱鷺メッセ經由佐渡汽船行き」に乗車「朱鷺メッセ」バス停下車

# 会場案内図

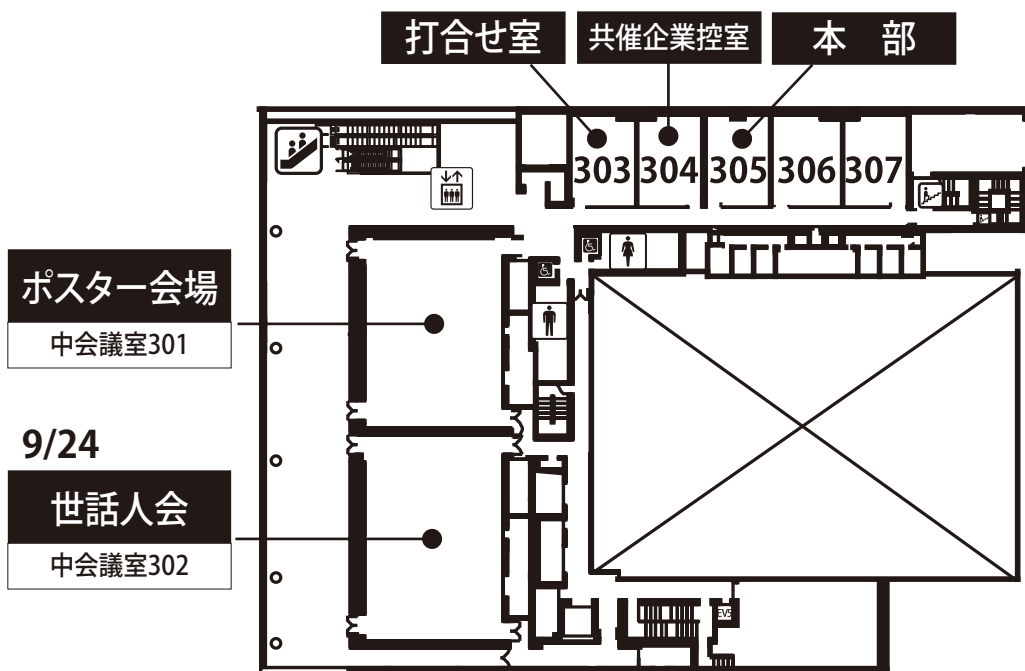
新潟コンベンションセンター

4F



新潟コンベンションセンター

3F



# 参加者へのご案内

## 1. 参加受付

場 所：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 4F ホワイエ

時 間：9月23日(金) 9:00～17:30

9月24日(土) 7:30～15:00

## 2. 研究会参加費／プログラム・抄録集販売

- ・医 師 12,000円
- ・初期研修医・コメディカル 5,000円(初期研修医の方は必ず証明できるものをご持参ください)
- ・学 生 無 料(必ず学生証をご持参ください)
- ・プログラム・抄録集 1,000円

※9月9日(金)までに参加登録が完了された方には、事前に参加証(ネームカード)とプログラム・抄録集を郵送いたします。当日必ずご持参ください。

※会場内では必ずネームカードにご所属・氏名をご記入の上、ご着用ください。

※ネームカードの再発行はできませんので、ご了承ください。

※会員ならびに演者の先生方には事前にプログラム・抄録集をお送りいたしますので、当日必ずご持参ください。

## 3. 全員懇親会

日 時：9月23日(金) 19:00～20:00

場 所：新潟グランドホテル 3F 悠久

※研究会参加者は無料です。どうぞご参加ください。

感染予防の為、着席しての懇親会を予定しております、費用は参加費に含まれています。

会当日の参加への変更には対応できない場合があります。

## 4. 年会費・新入会受付

会期中の受付場所：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 4F ホワイエ

### 【日本消化器画像診断研究会事務局】

〒722-8508 広島県尾道市平原一丁目10番23号

広島県厚生農業協同組合連合会 尾道総合病院内

TEL：0848-22-8111

FAX：0848-23-3214

E-mail：sho.gazou@gmail.com

## 5. 世話人会

日 時：9月24日(土) 12:00～13:00

場 所：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 3F 中会議室302

## 6. 次回のご案内

会 期：2023年9月16日(土)予定  
会 場：シェーンバッハ・サボー(砂防会館)  
当番世話人：菊山 正隆(東京女子医科大学)

## 7. 企業展示

場 所：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 4F ホワイエ  
時 間：9月23日(金) 10:00～17:00  
9月24日(土) 9:00～15:00

## 8. クローク

場 所：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 4F ホワイエ  
時 間：9月23日(金) 9:00～18:20  
9月24日(土) 7:30～16:20

## 9. ご注意

本会事務局の許可の無い提示・展示・印刷物の配布・録音・写真撮影・ビデオ撮影は固くお断りいたします。

## 10. ドレスコードについて

ビジネスカジュアル(ノーネクタイ)でお越しください。

## 11. 共催セミナーのご案内

ランチョンセミナー1：9月23日(金) 12:10～13:10

「新型コンベックス超音波内視鏡がもたらす膵疾患診断の新たな展開」

座長：花田 敬士(JA尾道総合病院)

演者：LS1-1 「胆膵疾患に対する新型 EUS スコープの有用性 ～より広く、deep に診る～」

脇岡 範(国立がん研究センター中央病院)

LS1-2 「遺伝子パネル検査時代における、EUS-FNA/FNB の実際

～新型コンベックス超音波内視鏡の使用経験を踏まえて～」

岩下 拓司(岐阜大学医学部附属病院)

共催：富士フイルムメディカル株式会社

ランチョンセミナー2：9月24日(土) 12:00～13:00

「やっぱり大切！画像診断と EUS-FNA」

座長：脇岡 範(国立がん研究センター中央病院)

演者：LS2-1 「小病変に対する EUS-FNA/B について」

林 和直(新潟大学医歯学総合病院)

LS2-2 「パターンで行う充実性膵腫瘍の画像診断 ―導入の導入編―」

栗田 亮(洛和会音羽病院)

共催：株式会社メディコスヒラタ



イブニングセミナー：9月23日（金）17:10～18:10

「長期開存の可能性を求めて ～ HILZOSTENT の使用経験～」

座長：安田 一郎（富山大学学術研究部 医学系内科学第三講座）

演者：ES-1 「遠位胆道狭窄における HILZOSTENT カバードの使用経験」

林 伸彦（富山大学学術研究部 医学系内科学第三講座）

ES-2 「肝門部における HILZOSTENT ムービングセルタイプの使用経験」

松田 耕一郎（富山県立中央病院 消化器内科）

共催：ゼオンメディカル株式会社

モーニングセミナー：9月24日（土）8:00～9:00

「胆道疾患に対する内視鏡診療の進歩」

座長：糸井 隆夫（東京医科大学 臨床医学系消化器内科学分野）

演者：MS-1 「胆道癌診療における EUS/ERCP の進歩」

金 俊文（手稲深仁会病院 消化器病センター）

MS-2 「内視鏡的胆道ドレナージの基本とトピックス

～プラスチックステントを中心に～」

岡部 義信（久留米大学医学部 内科学講座 消化器内科学部門）

共催：ガ德里ウス・メディカル株式会社

## 12. 電子抄録について

本研究会の電子抄録を作成しました。研究会ホームページの「電子抄録」メニューからアクセス、ダウンロードしていただくことが可能です。

電子抄録上登録できる DICOM 画像の数には制限があり、今回は口演発表の演題 28 題の DICOM 画像を登録しています。

<https://www.shoukaki-gazou.com/seminar-cont/76/76top/>

〈会場での Wi-Fi 環境について〉

4F フロアでは、Wi-Fi 環境を設定していますのでご活用ください。アクセスのためのパスワードは会場内にてご案内します。

回線の数に制限がございますので、ご了承ください。

従って、LTE 回線などをご利用できる方は、LTE 回線をご利用いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

## 新型コロナウイルス感染症拡大防止への取り組み

第76回日本消化器画像診断研究会においては、本会会員のみならず、初期臨床研修医・メディカルスタッフのご参加もあることから、新型コロナウイルス感染症パンデミックが収束するまでは、万が一の際の感染経路追跡調査が可能となるよう、会議に参加されるすべての方を対象に①参加当日の検温と②「参加同意書」のご提出を参加の必須条件とさせていただきます。

また、主催者側も会場内での感染予防対策を徹底し安心してご参加いただけるよう配慮いたしますが、同時に3密を避ける観点から、当日の混雑状況によっては予告なく入場制限や受付時間の変更などを行う可能性がございます。

ご不便、ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以下①②③④⑤いずれか1つでもあてはまる場合はご参加いただけません。

- ① 来場前の検温で37.5度以上の発熱がある
- ② 「参加同意書」の提出がない
- ③ 過去2週間の健康状態に異常がある場合  
(発熱、咳、のどの痛み、鼻水・鼻詰り、頭痛、下痢・腹痛、強いだるさ、息苦しさ、他の呼吸器症状がある)
- ④ 過去1週間以内に、新型コロナウイルス感染者との濃厚接触がある場合
- ⑤ 過去1週間以内に入国制限等のある国・地域からの渡航者・在住者との濃厚接触がある場合

会場内では必ずお守りください。

- マスク着用、手洗い・手指消毒、咳エチケットの励行
- 3密を避ける(特に参加登録受付周辺、会場内、パブリックスペース)

- 金銭授受時の接触を減らすためお釣り銭が出ないようにご準備をお願いいたします。
- 感染防止の観点から、参加受付などでは時間がかかることが予想されます。  
時間に余裕をもってご来場ください。

※来場日初日に提出ください

## 参加同意書（会場参加者当日提出用）

第76回日本消化器画像診断研究会

記載事項をすべてお読みいただき、枠内すべての事項にチェックとご記入・ご署名が確認できた場合のみ参加可能といたします。ご記入後は参加受付にご提出ください。

同意できる事項にチェックをつけてください(8か所)

- 本日、来場前に検温を行いました(体温は下枠内に記載してください)
- 過去2週間の健康状態に異常はありません。また参加中も体調変化には十分に留意いたします。(発熱、咳、のどの痛み、鼻水・鼻詰り、頭痛、下痢・腹痛、強いだるさ、息苦しさ、他の呼吸器症状はありません)
- 過去1週間以内に、新型コロナウイルス感染者との濃厚接触はありません。
- 過去1週間以内に、入国制限等のある国・地域からの渡航者・在住者との濃厚接触はありません。
- 会場内ではマスクを着用し、こまめな手洗いと咳エチケットを徹底いたします。
- 濃厚接触者となった場合は、接触してから2週間を目安に自宅待機の要請が行われる可能性があることを承諾いたします。
- 万が一参加者内においてクラスターが発生した場合、行政機関や保健所等に対し本同意書記載の連絡先を開示することについて承諾するとともに、追跡調査に協力いたします。
- 混雑時には会場内での入室制限や参加・単位登録の時間に変更が生じる可能性があることを承諾いたします。その際は主催会長および会場責任者・会場係員の指示や誘導に従います。

会場内では次の感染対策を実施いたします。

- 入口ドアの開放および定期的な室内換気を行います。
- 受付各所および会場内座席には十分な距離を確保いたします。
- 会場内備品や設備各所は定期的な消毒を行います。
- 受付・会場内係員はすべて検温と健康観察を行い、体調に異常がないことを確認しております。

私は本『企画参加同意書』記載のチェックリストを確認し、項目について順守するとともに、自らの意思にもとづき参加いたします。

|         |  |
|---------|--|
| 来場日     | 来場するすべての日に <input checked="" type="checkbox"/> をつけてください<br><input type="checkbox"/> 9月23日(金) <input type="checkbox"/> 9月24日(土) |
| 本日の体温   | 度      分 (37.5度以上の場合は参加をご遠慮ください)   |
| 参加者氏名   | (ふりがな:      )  |
| 所属先     | (都道府県:      )  |
| 連絡先電話番号 |  |
|         |  |

- 本同意書は第76回日本消化器画像診断研究会が現地開催にあたり、新型コロナウイルス感染拡大予防対策として参加者の健康状態を確認することを目的としています。
- ご記入いただいた個人情報は、参加者の健康状態の把握、来場参加可否の判断および必要な連絡のために使用いたします。
- 法令等に基づく開示請求を受けた場合を除き、第三者への開示提供や他目的での利用は行いません。

# 座長・画像コメンテーター・ 病理コメンテーター・演者へのご案内

## 1. 座長の皆様へ

- 下記発表時間に合わせて会の進行をお願いいたします。  
プレナリーセッション：発表5分・討論10分  
口 演                                 ：発表5分・討論10分  
ポスターセッション                 ：発表5分・討論10分
- 口演担当の座長の皆様は、担当セッションの開始15分前に会場前方の「次座長席」にお越しください。  
ポスター担当の座長の皆様は、会場前の「ポスター受付」にお立ち寄りのうえ、ポスターセッション開始10分前にはポスターパネル前にお越しください。

## 2. 病理・画像コメンテーターの皆様へ

担当セッションの開始15分前に会場前方の「病理・画像コメンテーター席」にお越しください。

## 3. 病理コメンテーターの皆様へ

- ① プレパラートは口演、ポスターともに事前に各演者より病理コメンテーターのご住所宛てに直接送付されますので、診断・検討いただきますようお願いいたします。
- ② 研究会当日はプレパラートを忘れずにご持参いただき、プレパラート受付にお引き渡しいただくか、指定着日9月20日(火)必着で運営事務局までご送付ください。  
送付方法につきましては、後日、送付状とあわせて改めてご案内いたします。
- ③ 口演担当の先生は担当セッションの開始15分前に会場前方の「病理コメンテーター席」にお越しください。
- ④ ポスター担当の先生は「ポスター受付」にお立ち寄りのうえ、ポスターセッション開始10分前にはポスターパネル前にお越しください。

## 4. コメンテーターの皆様へ

会場前の「ポスター受付」にお立ち寄りのうえ、ポスターセッション開始10分前にはポスターパネル前にお越しください。

## 5. 演者へのお願い

〈プレパラートについて〉

プレパラートの返却を参加受付横の「プレパラート受付」にて行います。  
演者の皆様は、発表終了後にお受け取りください。  
取扱いには十分注意いたしますが、万一破損した場合にはご容赦ください。

## 〈優秀賞について〉

### 〔最優秀演題賞〕

応募演題の中から、優秀演題を選出し、プレナリーセッションを組みました。

その中から、当日の発表を踏まえ、最優秀演題賞を決定します。

表彰を全員懇親会にて行いますので、プレナリーセッションご発表の方はご参加いただきますようお願いいたします。

### 〔優秀ポスター賞〕

ポスターセッション毎に、当日の発表を踏まえ、優秀演題を決定します。

表彰を9月24日(土) 13:00～の世話人会報告で行いますので、ポスター演題の方はご参加いただきますようお願いいたします。

## 〈口演発表〉

### (1) 発表方法と時間

- PCによるプレゼンテーションとなります。
- 発表時間は、下記の通りです。時間厳守をお願いいたします。  
プレナリーセッション：発表5分、討論10分  
口 演                          ：発表5分、討論10分
- 参加受付を済ませてから、該当するセッションの30分前までにPC受付(4F ホワイエ)へお越しください。
- セッション開始15分前までに会場前方の「次演者席」にご着席ください。

### (2) 発表データについて

- ご発表される当日の発表開始時間30分前までにPCセンターにてデータ登録、動作確認をしてください(USBメモリでご持参ください。その場でご返却いたします)。
- 会場のPCにデータをコピーしますが、研究会終了後に責任を持って消去します。
- 会場のPCが対応しておりますアプリケーションはWindows版PowerPoint2013年以降のバージョンです。
- スライドのサイズはワイド画面(16:9)を推奨します。
- 発表データは、作成したパソコン以外でも正常に動作することをご確認のうえ、ご持参ください。
- 文字フォントは特殊なものではなく、標準搭載のものをご使用ください。
- 持ち込まれるメディアのウイルスチェックを済ませてからご持参ください。
- つぎの場合はご持参いただいたPCでの発表となります。PCをご持参の上、オペレーター席にて接続をご確認ください。
  - ① 動画をお使いの方
  - ② 発表者ツールをお使いの方
  - ③ Macintoshの使用をご希望の方

#### ◇ PC を持ち込まれる場合の注意点 ◇

- PC お持込の場合はご発表の30分前には会場内オペレーターへPCをお預けください。
- Macintosh、一部の WindowsPC では D-SUB15 ピンとの接続に変換コネクタが必要となりますので、必ずお持ちください。



プロジェクターへ



PC側

- AC アダプター、バックアップデータもあわせてお持ちください。
- ノートパソコンから外部モニターに正しく出力されるか、ご確認ください。画像解像度 XGA (1024 × 768) です。
- スクリーンセーバー、省電力設定、パスワードを起動時に設定している場合は、解除しておいてください。
- 発表終了後、会場内オペレーター席にてパソコンを返却します。速やかにパソコンをお受け取りください。

#### (3) ご発表時

- 発表時、演台にモニターとマウスを設置しています。
- 発表データの1枚目をスライドショーの状態ですクリーンに映写します。
- 演台上のマウスを使用し、ご自身でスライドの操作を行ってください。

#### 〈ポスター発表〉

##### (1) 発表方法と時間

- セッション開始時刻をご確認の上、10分前までにはご自身のポスターパネル前にお越しください。
- 発表と討論は、座長の指示のもとご自身のポスターパネルの前で行います。
- 発表時間は、下記の通りです。時間厳守でお願いいたします。  
ポスターセッション：発表5分・討論10分

##### (2) ポスター掲示について

- 右図のパネルの規格に従って、演題名、所属名、演者名、発表内容のポスターをご用意ください。
- 演題番号は事務局にて用意いたします。

##### (3) ポスター貼付・撤去

- ポスター貼付用ピンは各ポスターパネルに準備しておりますので、ご自身の演題番号の掲示場所までお進みください。
- ポスター貼付・撤去については所定の時間内にご自身で行っていただきますよう、お願いいたします。  
撤去時間を過ぎても掲示してあるポスターは事務局にて処分いたします。

〈日 程〉

貼付：9月23日（金） 9:00～18:00

9月24日（土） 9:00～10:00

発表：9月24日（土） 11:00～11:45

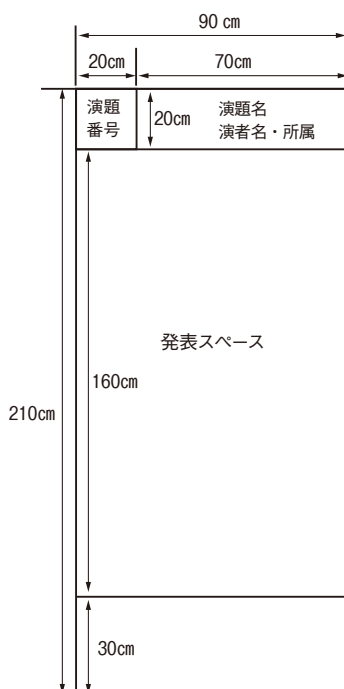
撤去：9月24日（土） 13:00～14:20

なお、撤去時間を過ぎてても掲示してあるポスターは、事務局にて処分いたしますのでご了承ください。

展示パネルの大きさは縦180cm×横90cmです。

上方20cmを演題等のスペースとします。

そのうち、左側20cm×20cmは演題番号欄として空欄としてください。



このプログラム・抄録集に印刷されております氏名と所属、抄録内容などはすべて、演題登録時にご登録いただいた内容をそのままご使用させていただいております。予めご了承ください。

1日目 9月23日(金) 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

| □ 演会場<br>4F マリンホール |  | ポスター会場<br>3F 中会議室301  |
|--------------------|--|---|
| 9:00               | 9:00~<br>受付開始  | 9:00~18:00<br><br>ポ<br>ス<br>タ<br>ー<br>貼<br>付<br>・<br>閲<br>覧 |
| 10:00              | 9:50~10:00<br>開会式  |   |
|                    | 10:00~11:00<br>□ 演 1 [ 膵臓 I ]<br>O-01 ~ O-04<br>座長：蘆田 玲子、佐野 圭二<br>病理コメンテーター：平林 健一<br>画像コメンテーター：山城 正司                                     |   |
| 11:00              | 11:05~12:05<br>□ 演 2 [ 胆道 I ]<br>O-05 ~ O-08<br>座長：有坂 好史、海野 倫明<br>病理コメンテーター：内藤 嘉紀<br>画像コメンテーター：吉満 研吾                                     |   |
| 12:00              | 12:10~13:10<br>ランチョンセミナー 1<br>新型コンベックス超音波内視鏡がもたらす膵疾患診断の新たな展開<br>座長：花田 敬士<br>演者：脇岡 範、岩下 拓司<br>共催：富士フィルムメディカル株式会社                          |   |
| 13:00              | 13:20~14:50<br>プレナリーセッション<br>PS-1 ~ PS-6 (O-09 ~ O-14)<br>座長：菊山 正隆、力山 敏樹<br>病理コメンテーター：大池 信之<br>画像コメンテーター：蒲田 敏文<br>審査委員：山雄 健次、真口 宏介、花田 敬士 |   |
| 14:00              | 15:00~16:00<br>□ 演 3 [ 膵臓 II ]<br>O-15 ~ O-18<br>座長：原 和生、遠藤 格<br>病理コメンテーター：福嶋 敬宣<br>画像コメンテーター：櫻井 康雄                                      |   |
| 15:00              | 16:05~17:05<br>□ 演 4 [ 胆道 II ]<br>O-19 ~ O-22<br>座長：湯沼 朗生、平野 聡<br>病理コメンテーター：安川 覚<br>画像コメンテーター：藤永 康成                                      |   |
| 16:00              | 17:10~18:10<br>イブニングセミナー<br>長期開存の可能性を求めて ~ HILZOSTENT の使用経験 ~<br>座長：安田 一朗<br>演者：林 伸彦、松田 耕一郎<br>共催：ゼオンメディカル株式会社                           |   |
| 17:00              | 18:00  |   |
| 18:00              | 19:00~20:00<br>全員懇親会・最優秀演題賞表彰  |   |
| 19:00              |  |   |



**2日目** 9月24日(土) 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

|       | 口 演 会 場<br>4F マリンホール   | ポスター会場<br>3F 中会議室301                    | 3F<br>中会議室302                  |
|-------|--|---|--------------------------------|
| 8:00  | 8:00~9:00<br><b>モーニングセミナー</b><br>胆道疾患に対する内視鏡診療の進歩<br>座長：糸井 隆夫<br>演者：金 俊文、岡部 義信<br>共催：ガデリウス・メディカル株式会社       |   |                                |
| 9:00  | 9:05~10:05<br><b>口 演 5 [ 膵臓Ⅲ ]</b><br>O-23 ~ O-26<br>座長：菅野 敦、大塚 隆生<br>病理コメントーター：福村 由紀<br>画像コメントーター：岡田 吉隆   | 9:00~10:00<br>ポスター貼付                    |                                |
| 10:00 | 10:05~10:50<br><b>口 演 6 [ 肝 臓 ]</b><br>O-27 ~ O-29<br>座長：植木 敏晴、大塚 将之<br>病理コメントーター：草野 弘宣<br>画像コメントーター：廣橋 伸治 | 10:00~11:00<br>ポスター閲覧                   |                                |
| 11:00 |  | 11:00~11:45<br>ポスターセッション<br>P-01 ~ P-18 |                                |
| 12:00 | 12:00~13:00<br><b>ランチョンセミナー 2</b><br>やっぱり大切!画像診断とEUS-FNA<br>座長：脇岡 範<br>演者：林 和直、栗田 亮<br>共催：株式会社メディコスヒラタ     | 11:45~13:00<br>ポスター閲覧                   | 12:00<br>~13:00<br><b>世話人会</b> |
| 13:00 | 13:00~13:15 <b>世話人報告・優秀ポスター賞表彰</b>   | 13:00~<br>ポスター撤去                        |                                |
| 14:00 | 13:20~14:50<br><b>症例検討会</b><br>司 会：比佐 岳史<br>深澤 光晴<br>症例提示：原井 正太<br>西山 秀                                    |   |                                |
| 15:00 | 15:00~16:00<br><b>口 演 7 [ 膵臓Ⅳ ]</b><br>O-30 ~ O-33<br>座長：伊藤 啓、清水 泰博<br>病理コメントーター：佐々木 恵子<br>画像コメントーター：竹原 康雄 |   |                                |
| 16:00 | 16:00~16:10 <b>次回当番世話人挨拶・閉会式</b>   |   |                                |
| 17:00 |  |   |                                |

# プログラム

9月23日(金)

口演会場(4F マリンホール)

9:50～ **開会式** 当番世話人：塩路 和彦 新潟県立がんセンター新潟病院 内科

10:00～11:00 **口演1 [ 膵臓 I ]**

座長：蘆田 玲子(和歌山県立医科大学 消化器内科)

佐野 圭二(帝京大学医学部 外科学講座)

病理コメンテーター：平林 健一(富山大学学術研究部医学系病理診断学講座)

画像コメンテーター：山城 正司(福井県済生会病院 放射線科)

**O-01** 主膵管内に10mm大の結節を呈したIgG4陽性形質細胞浸潤を伴う胃型IPMAの1例

DICOM

川本 裕介 東京女子医科大学 消化器・一般外科

**O-02** 膵内再発を繰り返し、計3度の膵手術を経て膵全摘に至ったIPMNの1例

DICOM

阿南 秀征 公益財団法人 仙台市医療センター 仙台オープン病院

**O-03** Intraductal oncocytic papillary neoplasm (IOPN)の1例

DICOM

仲程 純 がん・感染症センター東京都立駒込病院

**O-04** 腎細胞癌術後経過のPET-CTが診断契機となった膵noninvasive IOPCの1例

DICOM

田村 崇祥 和歌山県立医科大学附属病院 第二内科

11:05～12:05 **口演2 [ 胆道 I ]**

座長：有坂 好史(日本生命済生会日本生命病院 消化器内科)

海野 倫明(東北大学大学院 消化器外科学)

病理コメンテーター：内藤 嘉紀(久留米大学病院 臨床検査部)

画像コメンテーター：吉満 研吾(福岡大学医学部 放射線医学教室)

**O-05** 胆嚢から胆管に連続したポリープ様隆起性病変の一例

DICOM

宮本 和也 津山中央病院 内科、岡山大学病院 消化器内科

**O-06** 胆嚢癌との鑑別に苦慮したリンパ濾胞性胆嚢炎の一例

DICOM

土屋 直壮 福岡大学医学部 消化器内科学講座

**O-07** 胆管炎・胆嚢炎を発症後に肝内胆管狭窄による肝膿瘍を発症したirAE胆管炎と考えられた1例

DICOM

吉川 成一 長岡赤十字病院 消化器内科

**O-08** 術前診断が困難であった肝門部胆管狭窄の1例

DICOM

天野 彰吾 山口大学大学院 医学系研究科 消化器内科学

座長：花田 敬士 (JA尾道総合病院)

## 新型コンベックス超音波内視鏡がもたらす膵疾患診断の新たな展開

### LS1-1 胆膵疾患に対する新型 EUS スコープの有用性 ～より広く、deep に診る～

脇岡 範 国立がん研究センター中央病院

### LS1-2 遺伝子パネル検査時代における、EUS-FNA/FNB の実際 ～新型コンベックス超音波内視鏡の使用経験を踏まえて～

岩下 拓司 岐阜大学医学部附属病院

共催：富士フィルムメディカル株式会社

13:20～14:50 **プレナリーセッション**

座長：菊山 正隆 (東京女子医科大学 消化器内科)

力山 敏樹 (自治医科大学附属さいたま医療センター 一般・消化器外科)

病理コメンテーター：大池 信之 (聖マリアンナ医科大学 病理学(分子病理))

画像コメンテーター：蒲田 敏文 (金沢大学附属病院 放射線科)

審査委員：山雄 健次 (成田記念病院)

真口 宏介 (手稲溪仁会病院)

花田 敬士 (JA尾道総合病院 消化器内科)

### PS-1 (O-09) 繰り返す膵炎を契機に IPMC を疑い手術し、 浸潤性膵癌の病理診断であった一例

中島 悠貴 慶応義塾大学医学部 消化器内科

DICOM

### PS-2 (O-10) 高度の線維化を伴った Neuroendocrine tumor の1例

嘉島 賢 獨協医科大学医学部 内科学(消化器)講座

DICOM

### PS-3 (O-11) 超音波内視鏡の画像変化を知り得た small pNET G2 の1例

奥野 のぞみ 愛知県がんセンター 消化器内科部

DICOM

### PS-4 (O-12) 膵全体に発育し微小浸潤を伴った Intraductal tubulopapillary carcinoma の1例

伊藤 唯 JA長野厚生連 佐久医療センター 消化器内科

DICOM

### PS-5 (O-13) 広範に進展した胆嚢内乳頭状腫瘍の1例

古川 大 広島大学病院 消化器・代謝内科

DICOM

### PS-6 (O-14) 多発肝転移をきたした膵漿液性嚢胞癌の1例

深井 翔太 自治医科大学附属さいたま医療センター

DICOM

15:00～16:00

### 口演3 [ 膵臓Ⅱ ]

座長：原 和生(愛知県がんセンター 消化器内科)  
遠藤 格(横浜市立大学大学院医学研究科 消化器・腫瘍外科学)  
病理コメントーター：福嶋 敬宣(自治医科大学附属病院 病理診断部)  
画像コメントーター：櫻井 康雄(手稲溪仁会病院 放射線診断科)

- O-15** 術前診断が困難であった膵原発顆粒細胞腫の1例 DICOM  
山口 奈奈子 大阪市立総合医療センター 消化器内科
- O-16** 術前に膵上皮内癌との鑑別困難であった顆粒細胞腫の一例 DICOM  
池田 恵理子 自治医科大学 内科学講座 消化器内科部門
- O-17** 術前に縮小、再増大を示した膵臓原発血管周囲類上皮細胞腫瘍(PEComa)の1例 DICOM  
油座 築 横浜市立大学 消化器・腫瘍外科学
- O-18** 術前診断困難であった膵頭部の脱分化型脂肪肉腫の一例 DICOM  
岩野 光佑 手稲溪仁会病院 消化器病センター

16:05～17:05

### 口演4 [ 胆道Ⅱ ]

座長：瀧沼 朗生(手稲溪仁会病院 消化器病センター)  
平野 聡(北海道大学大学院医学研究院 消化器外科学教室Ⅱ)  
病理コメントーター：安川 覚(京都第二赤十字病院 病理診断科)  
画像コメントーター：藤永 康成(信州大学附属病院 放射線科)

- O-19** 胆嚢 ICPN の一切除例 DICOM  
平井 真吾 久留米大学医学部 内科学講座 消化器内科部門
- O-20** 胆嚢癌を合併した Hyalinizing cholecystitis の1例 DICOM  
木下 雅仁 倉敷中央病院 外科
- O-21** 局在診断が困難であった IAPN の一例 DICOM  
森 雄貴 公益財団法人 田附興風会 医学研究所 北野病院 消化器内科
- O-22** 膵胆管合流異常に、胆嚢癌および胆管癌が合併した重複癌の1例 DICOM  
野口 春菜 大分市医師会立アルメイダ病院 消化器内科

座長：安田 一期（富山大学学術研究部 医学系内科学第三講座）

**長期開存の可能性を求めて  
～ HILZOSTENT の使用経験～**

**ES-1 遠位胆道狭窄における HILZOSTENT カバードの使用経験**

林 伸彦 富山大学学術研究部 医学系内科学第三講座

**ES-2 肝門部における HILZOSTENT ムービングセルタイプの使用経験**

松田 耕一郎 富山県立中央病院 消化器内科

共催：ゼオンメディカル株式会社

9月24日(土)

口演会場(4F マリンホール)

8:00~9:00

## モーニングセミナー

座長：糸井 隆夫(東京医科大学 臨床医学系消化器内科学分野)

### 胆道疾患に対する内視鏡診療の進歩

#### MS-1 胆道癌診療における EUS/ERCP の進歩

金 俊文 手稲溪仁会病院 消化器病センター

#### MS-2 内視鏡的胆道ドレナージの基本とトピックス ～プラスチックステントを中心に～

岡部 義信 久留米大学医学部 内科学講座 消化器内科部門

共催：ガデリウス・メディカル株式会社

9:05~10:05

## 口演5 [ 膵臓Ⅲ ]

座長：菅野 敦(自治医科大学 消化器肝臓内科)

大塚 隆生(鹿児島大学 消化器・乳腺甲状腺外科)

病理コメンテーター：福村 由紀(順天堂大学 人体病理病態学講座)

画像コメンテーター：岡田 吉隆(埼玉医科大学国際医療センター 画像診断科)

#### O-23 著明な限局性膵実質萎縮を契機に診断に至った High-grade PanIN の一例

佐上 亮太 大分三愛メディカルセンター 消化器内科

DICOM

#### O-24 微小な浸潤を伴った膵管癌の一例

河田 真由子 川崎医科大学総合医療センター 総合内科学2

DICOM

#### O-25 主膵管拡張に先行してスリット状の膵実質萎縮を認めた膵上皮内癌の1例

山雄 健太郎 名古屋大学病院 光学医療診療部

DICOM

#### O-26 顕著な実質萎縮と分枝拡張所見を認めた微小浸潤を伴う膵上皮内癌の1例

長川 達哉 札幌厚生病院 消化器内科(胆膵内科)

DICOM

10:05～10:50 **口演6 [ 肝臓 ]**

---

座長：植木 敏晴（福岡大学筑紫病院 消化器内科）  
大塚 将之（千葉大学医学部附属病院 肝胆膵外科）  
病理コメンテーター：草野 弘宣（小倉医療センター 臨床検査科）  
画像コメンテーター：廣橋 伸治（大阪暁明館病院 放射線科）

- O-27** 診断に苦慮した肝間葉系腫瘍の1例 DICOM  
青沼 宇倫 信州大学医学部 画像医学教室
- O-28** 診断に苦慮した肝腫瘍の1切除例 DICOM  
大澤 高陽 愛知医科大学 消化器外科
- O-29** 外科治療可能であった肝原発扁平上皮癌の一例 DICOM  
平昭 衣梨 JA 尾道総合病院 消化器内科

12:00～13:00 **ランチョンセミナー2**

---

座長：肱岡 範（国立がん研究センター中央病院）

**やっぱり大切！画像診断と EUS-FNA**

- LS2-1** 小病変に対する EUS-FNA/B について  
林 和直 新潟大学医歯学総合病院
- LS2-2** パターンで行う充実性膵腫瘍の画像診断 — 導入の導入編 —  
栗田 亮 洛和会音羽病院

共催：株式会社メディコスヒラタ

---

13:00～13:15 **世話人報告・優秀ポスター賞表彰**

13:20～14:50 **症例検討会**

---

司会：比佐 岳史（佐久総合病院 佐久医療センター 消化器内科）  
深澤 光晴（山梨大学医学部 第1内科）

- 症例提示1 「膵病変の1例」 原井 正太 山梨大学医学部 第1内科  
症例提示2 「膵腫瘍の1例」 西山 秀 佐久総合病院 佐久医療センター 消化器内科

座長：伊藤 啓(仙台市医療センター仙台オープン病院 消化管・肝胆膵内科)

清水 泰博(愛知県がんセンター 消化器外科)

病理コメンテーター：佐々木 恵子(静岡県立静岡がんセンター 病理診断科)

画像コメンテーター：竹原 康雄(名古屋大学大学院医学系研究科 新規低侵襲画像診断法基盤開発研究寄附講座)

- O-30** 局在診断に苦慮したインスリノーマの1例 DICOM  
五十嵐 聡 新潟大学医歯学総合病院 消化器内科
- O-31** 主膵管浸潤を来した膵神経内分泌腫瘍の1例 DICOM  
児玉 亮 南長野医療センター篠ノ井総合病院 消化器内科
- O-32** 膵体部の神経内分泌腫瘍フォロー中に膵頭部の通常型腺癌を併存した一例 DICOM  
南 裕人 東京医科大学 臨床医学系 消化器内科学分野
- O-33** CA19-9上昇を伴う嚢胞変性をきたした膵神経内分泌腫瘍の1例 DICOM  
角 一弥 昭和大学 江東豊洲病院 消化器センター
-



9月24日(土)

ポスター会場 (3F 中会議室 301)

11:00～11:45 **ポスター1**

座長：栗田 亮(洛和会音羽病院 消化器内科)

病理コメンテーター：安川 覚(京都第二赤十字病院 病理診断科)

コメンテーター：北野 雅之(和歌山県立医科大学 第二内科(消化器内科))

**P-01** 2型糖尿病の急激な悪化と糖尿病性ケトアシドーシス(DKA)を来した膵原発 MiNEN の一例

田中 マリ子 東京女子医科大学 消化器内科

**P-02** 2年の経過で80mmのリンパ節転移をきたした胆管 Mixed neuroendocrine non-neuroendocrine neoplasm (MiNEN) の1例

伊藤 聡司 仙台厚生病院 消化器内科

**P-03** 充実部で占められた肝内胆管原発の IPNB の一例

八木 伸 横浜市立大学医学部附属病院 肝胆膵消化器病学

11:00～11:45 **ポスター2**

座長：長川 達哉(札幌厚生病院 第2消化器科)

病理コメンテーター：大森 優子(東北大学大学院医学系研究科 病態病理学分野)

コメンテーター：北川 裕久(倉敷中央病院 外科)

**P-04** 膵管内腫瘍の一例

宮島 真治 市立岸和田市民病院 消化器内科

**P-05** 結節を伴う IPMN と鑑別が困難であった膵リンパ上皮嚢胞の1例

倉岡 直亮 埼玉県済生会川口総合病院 消化器内科

**P-06** 膵全摘術を施行した主膵管型 IPMC の1例

立川 勝子 福岡大学筑紫病院 消化器内科

11:00～11:45 **ポスター3**

座長：宮田 英樹(愛媛県立中央病院 消化器内科)

病理コメンテーター：濱田 義浩(福岡大学医学部 病理学講座)

コメンテーター：羽鳥 隆(国際医療福祉大学 三田病院 外科・消化器センター)

**P-07** 限局性膵管狭窄、膵萎縮を呈した膵頭部低異型度膵上皮内腫瘍の一例

小林 陽介 聖隷浜松病院 消化器内科

**P-08** 限局性膵萎縮を契機に発見された膵上皮内癌の1例

實藤 洋伸 愛媛県立中央病院 消化器内科

**P-09** 広範囲 low grade PanIN に発生した膵上皮内癌の1例

三宅 智雄 川崎医科大学 消化器内科学

11:00～11:45

## ポスター4

---

座長：牛尾 純(昭和大学江東豊洲病院 消化器センター)

病理コメンテーター：能登原 憲司(倉敷中央病院 病理診断科)

コメンテーター：入澤 篤志(獨協医科大学医学部 内科学(消化器)講座)

### P-10 診断に苦慮した多発性自己免疫性膵炎と考えられた1例

吉川 成一 長岡赤十字病院 消化器内科

### P-11 妊娠中に発見された Mucinous cystic carcinoma の1例

郷 雅 北海道大学医学研究院 消化器外科学教室Ⅱ、北海道大学病院 病理診断科

### P-12 主膵管に発生した上皮内癌と膵野の微小浸潤癌が併存した膵癌の1例

池田 恵理子 自治医科大学 内科学講座 消化器内科部門、自治医科大学 病理診断部

11:00～11:45

## ポスター5

---

座長：高山 敬子(東京女子医科大学 消化器内科)

病理コメンテーター：古賀 裕(国立病院機構 九州がんセンター 病理診断科)

コメンテーター：岡部 義信(久留米大学医学部 内科学講座消化器内科部門)

### P-13 カーニー複合による膵腫瘍の1例

古川 浩一 新潟市民病院 医療技術部

### P-14 転移性膵 solitary fibrous tumor の1例

高野 可赴 新潟県立がんセンター新潟病院 消化器外科

### P-15 EUS-FNB が診断に有用であった膵周囲結核性リンパ節炎の一例

高崎 哲郎 国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科

11:00～11:45

## ポスター6

---

座長：竹中 完(近畿大学医学部附属病院 消化器内科)

病理コメンテーター：細田 和貴(愛知県がんセンター病院 遺伝子病理診断部)

コメンテーター：伊佐山 浩通(順天堂大学医学部附属順天堂医院 消化器内科)

### P-16 若年女性に発生した膵腺房細胞癌の一切除例

伊藤 光一 順天堂大学大学院 医学研究科 消化器内科学

### P-17 膵炎にて発症した破骨型多核巨細胞を伴う退形成膵癌の1例

山本 貴浩 愛知医科大学病院 放射線科

### P-18 短期間で明らかな形態変化をきたした膵紡錘細胞型退形成癌の一例

奥田 彩子 三重大学医学部附属病院 消化器肝臓内科

口 演

O-01

主膵管内に10mm大の結節を呈したIgG4陽性形質細胞浸潤を伴う胃型IPMAの1例

○川本 裕介<sup>1)</sup>、本田 五郎<sup>1)</sup>、菊山 正隆<sup>2)</sup>、大目 祐介<sup>1)</sup>、樋口 亮太<sup>1)</sup>、千葉 和朗<sup>3)</sup>、仲程 純<sup>3)</sup>、堀口 慎一郎<sup>4)</sup>、古川 徹<sup>5)</sup>

1) 東京女子医科大学 消化器・一般外科、2) 東京女子医科大学 消化器内科、  
3) がん感染症センター都立駒込病院 消化器内科、4) がん感染症センター都立駒込病院 病理科、  
5) 東北大学医学系研究科 病態病理学分野

症例は91歳、女性。腹痛の精査で行った腹部超音波検査で、主膵管の拡張を指摘された。EUS、MRIで主膵管の拡張、蛇行、分枝膵管の拡張を認めたが、腫瘍ははっきりせず、EUSで認めた低エコー域にFNAを行ったが異型細胞は検出されなかったため、経過観察の方針としていた。10か月後にEUSを再検すると、主膵管内に充満する10mm大の低エコー腫瘍が出現し、MRIで主膵管内にT2WIで軽度高信号の腫瘍として描出された。造影CTでも主膵管内に遷延性に造影される腫瘍として確認された。EUS-FNAを行ったところ atypical cell が検出されたが、明らかな悪性所見は検出できなかった。病理組織学的に確定診断には至らなかったが、増大傾向を示す10mmを超える主膵管内の結節であり、malignant potential が高いと考え、腹腔鏡下膵体尾部切除を行った。切除標本の断面の肉眼像で、10mm大に拡張した主膵管の内腔に充満する腫瘍を認めた。病理組織学的に、腫瘍は幽門腺様の腺管増生を含む高円柱上皮の増生を認めたが、異型は軽度で、IPMA、gastric type、pyloric gland variant と診断された。さらに、腫瘍は形質細胞主体の炎症性細胞浸潤を伴う間質の拡大を認め、間質部分の形質細胞の多くはIgG4陽性であった。

【検討項目】術前の画像からどこまで術後診断に迫ることが可能であったか、IgG4陽性の形質細胞と腫瘍の増大の関連、またそれを事前に予想することは可能であったかを討議したい。

〈DICOM画像あり〉

O-02

膵内再発を繰り返し、計3度の膵手術を経て膵全摘に至ったIPMNの1例

○阿南 秀征、越田 真介、菅野 良秀、小川 貴央、楠瀬 寛顕、酒井 利隆、與那嶺 圭輔、宮本 和明、野田 裕、伊藤 啓

公益財団法人 仙台市医療センター 仙台オープン病院

【症例】56歳女性。

【現病歴】2015年3月の腹部超音波検査にて膵尾部末端に嚢胞性病変を指摘され、当科初診。EUSで膵尾部に3cm程の主膵管と交通する嚢胞性病変を認め、内部に12mm高の結節を認めた。悪性のIPMNを疑い、当院外科で膵尾部切除術を施行した。組織診断は8mmの浸潤を伴うIPMN由来浸潤癌であった。2017年9月のCT検査で残膵体部の主膵管拡張を認め、EUSを施行。膵体部主膵管内に充満する腫瘍を認め、主膵管型IPMNを疑った。ERP/膵管鏡で体部主膵管内に限局した乳頭状隆起を認め、生検で腺癌の診断となり、膵体部切除術を施行した。組織診断はhigh-grade dysplasiaであった。2018年11月のCTで残膵頭部の主膵管拡張を指摘し、EUSを施行。主膵管に閉塞起点は無く、膵頭下部に複数の微小な拡張分枝に混在する境界不明瞭な膵実質の低エコー化のみであった。また、同時期のERCP下に採取した膵液細胞診はlow-grade IPMN疑いであった。2019年3月のCTおよびMRIで、膵頭下部に急速に明瞭化した3cm径の内部に造影効果を伴う多房性嚢胞を指摘し、悪性IPMNを疑い、残膵全摘術を施行した。切除標本の組織所見ではIPMN由来浸潤癌の診断であった。最終手術後3年経過し、現在無再発生存中である。

【考察/討議点】初診から約4年の間に多様な画像・組織形態でIPMNの再発を繰り返し、計3度の膵手術を経て膵全摘に至った症例を経験した。各腫瘍の関連性も含めて御討議頂きたい。

〈DICOM画像あり〉

第76回 日本消化器画像診断研究会  
プログラム・抄録集

---

当番世話人：塩路 和彦 新潟県立がんセンター新潟病院 内科

事務局：新潟県立がんセンター新潟病院 内科  
〒951-8566 新潟市中央区川岸町2-15-3  
TEL：025-266-5111(代) FAX：025-233-3849

運営事務局：株式会社シンセンメディカルコミュニケーションズ  
〒950-0983 新潟市中央区神道寺1丁目6-14  
TEL：025-278-7232 FAX：025-278-7285  
E-mail：gazou76@shinsen-mc.co.jp

出版：株式会社セカンド  
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F  
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025  
<https://secand.jp/>